

- (7) Ibid., p.16. 邦訳書、219ページ参照。
- (8) Ibid., p.10. 邦訳書、211ページ参照。
- (9) Ibid., p.11. 邦訳書、212ページ参照。
- (10) Ibid., p.16. 邦訳書、220ページ参照。
- (11) この指導資料は、文部科学省のホームページでも公開されているが、以下の書籍として刊行されている。文部科学省『読解力向上に関する指導資料——PISA調査(読解力)の結果分析と改善の方向——』東洋館出版社、2006年。
- (12) 同書、1ページ。
- (13) 国立教育政策研究所編著『生きるための知識と技能4 OECD生徒の学習到達度調査(PISA) 2009年調査国際結果報告書』明石書店、2010年。
- (14) 同書、34ページ。
- (15) 同書、x i ページ。
- (16) 有本秀文『新学習指導要領に沿った PISA型読解力が必ず育つ10の鉄則』明治図書、2008年、14-16ページ。
- (17) 同書、14ページ。
- (18) 同書、14-15ページ。
- (19) 同書、15ページ。
- (20) 同書、15ページ。
- (21) 平野美和「道徳授業で『PISA型学力』を考える その1 ——『グループワーク』を授業の中に位置付ける試み——」『道徳教育』No.639、明治図書、2011年、76-78ページ。平野美和「道徳授業で『PISA型学力』を考える その2 ——『グループワーク』は『話し合い』+『共同活動』——」『道徳教育』No.640、明治図書、2011年、76-78ページ。平野美和「道徳授業で『PISA型学力』を考える その3 ——結論『子どもの力を生かす』発想——」『道徳教育』No.641、明治図書、2011年、76-78ページ。
- (22) 平野美和「道徳授業で『PISA型学力』を考える その2 ——『グループワーク』は『話し合い』+『共同活動』——」『道徳教育』No.640、明治図書、2011年、76ページ。
- (23) 中越道徳教育研究会平成23年度研究発表会(平成23年11月26日)、および平成24年8月24日の道徳教育研修会における山畑浩志教諭の発表資料より。

Q文書(ギリシア語テキスト決定版)の日本語訳(2)⁽¹⁾

山田耕太

III. 今の時代に対抗して

(6) 霊のしるしと反対者への批判

- Q20 ベルゼブル論争物語 (Q11:14-15, 17-20, 23=マタイ12:22-29, 30)
- 14a そして、彼(イエス)はおしの悪霊を追い出した。
- b だが、悪霊が追い出されると、おしはしゃべった。
- c すると、群衆は驚いた。
- 15a しかし、ある人々が言った。
- b 彼は悪霊の支配者ベルゼブルによって
- c 悪霊を追い出しているのだ。
- 17a だが、彼(イエス)は彼らの悪意を見抜いて、彼らに言った。
- b 内部で分裂した国はすべて荒れ果てる。
- c 内部で分裂した家はすべて立ちゆかないであろう。
- 18a もしサタンが内部で分裂しているならば、
- b どうしてその国は立ちゆくことができようか。
- 19a また、もし私がベルゼブルによって悪霊を追い出しているならば、
- b あなたがたの子らは何によって追い出しているのか。
- c それゆえ、彼ら自身があなたがたを裁く者になるだろう。
- 20a だが、もし私が神の指によって悪霊を追い出しているならば、
- b その時、神の国はあなたがたのところに来たのである。
- 23a 私に味方しない者は、私に反対する者であり、
- b 私と共に行かない者は、まき散らすのである。
- Q21 汚れた霊の逆戻り (Q11:24-26=マタイ12:43-45)
- 24a 汚れた霊が人から出て行く時に、
- b 水のない場所(砂漠)を歩き巡り、
- c 休む所を探すが見つからない。
- d [その時]言う、私が出て来た私の家に戻ろう。
- 25 そして、行くとそれが掃除され整頓されているのを見つける。
- 26a その時、出かけて行って自分と共に
- b 自分より悪い他の七つの霊を連れて来て、

- c 入り込んでそこに住まう。
- d すると、その人の結末は、
- e 最初より悪くなる。

Q22 ヨナと人の子のしるし・南の女王とニネベの人々 (Q11:16, 29-30, 31-32=マタイ12:38-42)

- 16 [しかし] ある人々が彼 (イエス) からしるしを求めていた。
- 29a そこで [彼が] [言った。]
- b この時代は悪い時代である。
- c しるしを求める (とは)。
- d しかし、ヨナのしるし以外にはしるしは与えられないであろう。
- 30a すなわち、ヨナがニネベの人々にとってしるしとなったように
- b 人の子 [も] この時代に対して同じようになるであろう。
- 31a 裁きの時に南の女王はこの時代と共に復活して、
- b それ (この時代) を裁くであろう。
- c なぜならば、彼女は地の端から来て
- d ソロモンの知恵を聞いたからである。
- e 見よ、ここにソロモンに優る者がいる。
- 32a 裁きの時にニネベの男たちはこの時代と共に甦り、
- b それ (この時代) を裁くであろう。
- c なぜならば、彼らはヨナの宣教で悔い改めたからである。
- d 見よ、ここにヨナに優る者がいる。

Q23 ともし火と目 (Q11:33, 34-35=マタイ5:15, 6:22-23)

- 33a 誰もランプを灯して、[隠れたところに] 置かないで、
- b ランプ台の上に置く。
- c [そして、家の中にいるすべての人々を照らし出す。]
- 34a 体のランプは目である。
- b …あなたの目が健やかであれば、
- c あなたの体全体は光で輝いている。
- d …だが、あなたの目が悪ければ、
- e あなたの体全体は闇のように暗い。
- 35a それ故、もしあなたの中にある光が暗ければ、
- b その暗さはどれほどか。

Q24 ファリサイ派・律法学者に対する批判 (Q11:42, 39b, 41, 43-44, 46, 52, 47-48=マタイ23:4, 6-7, 13, 23, 25-32)

- 42a あなたがたファリサイ派の人々は災いである。
- b あなたがたはミントやイノンドやクミンの十分の一を献げるが、
- c 公正や憐れみや信仰を [疎んじる] からである。
- d だが、これらは行なわなければならないが、それらも [疎んじ] てはならない。
- 39b あなたがたファリサイ派の人々は災いである。
- c あなたがたは杯や皿の外側を清めるが、
- d 内側は食欲と放縦に満ちているからである。
- 41a 杯の内側を [清めなさい]、
- b …そして…その外側は清い。…
- 43a あなたがたファリサイ派の人々は災いである。
- b あなたがたは [宴会では上席を]、
- c 会堂では上座を、
- d 広場では挨拶されることを好むからである。
- 44a あなたがたファリサイ派の人々は災いである。
- b あなたがたはまだ何も記されていない墓 [のよう] で、
- c その上を歩く人々は (それに) 気がつかないからである。
- 46a [また、] あなたがた [律法学者] たちは災いである。
- b あなたがたは重荷を [負わせ]、
- c [人々の両肩に加えるからである]。
- d [だが] あなたがた自身が、あなたがたの指でそれらを [動かそうとは] [し] ない。
- 52a あなたがた [律法学者] たちは災いである。
- bc あなたがたは [人々の前で神の] [国を] 閉ざしているからである。
- d あなたがた自身も入らず、
- e やって来る人々が入ることを [も] 許さ [ない]。
- 47a あなたがたは災いである。
- b あなたがたは預言者たちの墓を建てているからである。
- c だが、あなたがたの先祖が彼らを殺したのである。
- 48 …あなたがた自身で、あなたがたの先祖の子孫であることを証している。…

Q25 この世に対する神の知恵 (Q11:49-51=マタイ23: 34-36)

- 49a それゆえ、知恵も言った。
 b 私は預言者たちや知恵者たちを彼らの〔ところに〕派遣するであろう。
 c 彼らは彼らの中の（ある人々）を殺害して迫害するであろう。
- 50a すべての預言者たちの血が求められた〔からである〕。
 b 天地創造の時以来流されてきた（血が）
 c この時代から（も求められる）。
- 51ab アベルの血から祭壇や家の間で滅ぼされたゼカルヤの血に至るまで。
 c そうだ、あなたがたに言う、この時代から求められるであろう。

IV. 真の共同体を築くための教え

(7) 告白について

- Q26 告白についての教え（Q12:2-9＝マタイ10:26-33）
- 2a 覆われているもので顕わにされるようにならないものはなく、
 b 隠されているもので知られるようにならないものはない。
- 3a 私があなたがたに暗闇の中で言うことをあなたがたは光の中で言い、
 b あなたがたが耳の中で聞くことを屋根の上で宣べ伝えるであろう。
- 4a そして、体を殺す人を恐れてはならない、
 b 魂を殺すことができないからである。
- 5a しかし、あなたがたは恐れなければならない。
 b 魂も体もゲヘナの中に投げ込むことができる方を。
- 6a〔5〕羽の雀は、〔2〕アサリオンで売られているではないか。
 b しかし、それらの中の1羽ですら〔あなたがたの父〕の意思なしに地には落ちない。
- 7a〔だが、〕あなたがたの頭の髪の毛はすべて数えられ〔ている〕。
 b 恐れてはならない。あなたがたは多くの雀より優っているからである。
- 8ab 人々の前で私を告白する人はすべて、
 cd 天使たちの前で人の子も彼を告白する…
- 9a 人々の前で私を否定する人は、
 b 天使たちの前で否定される。
- Q27 聖霊の冒瀆と助け（Q12:10-12＝マタイ12:32, 10:19-20）
- 10ab 人の子に反対する言葉を言う人は赦されるだろう。
 cd だが、聖霊に反対することを〔言う〕人は赦されないだろう。
- 11a だが、彼らがあなたがたを会堂の中に導き入れる時に、
 b あなたがたは何をどう言おうかと思煩わないようにしなさい。

- 12〔聖霊〕が、その時にあなた〔がた〕が何を言うべきかを…〔教える〕からである。

(8) 思い煩わずに待つこと

- Q28 思い煩いについての教え（Q12:22-31＝マタイ6:25-33）
- 22a それゆえ、私はあなたがたに言う。
 b あなたがたの命のことで何を食べようか、
 c あなたがたの体のことで何を着ようかと思煩うな。
- 23a 命は食べ物よりも大切であり、
 b 体は衣服よりも大切ではないか。
- 24a カラスのことをよく考えてみなさい。
 b なぜならば、種も蒔かず、刈り取りもせず、
 c 倉に集めもしない。
 d しかし、神はそれらを養ってくださる。
 e あなたがたは鳥たちよりも遥かに優っているではないか。
- 25a あなたがたの中で誰が思い煩ったからといって、
 b 自分の寿命に日を加えることができようか。
- 26 また、衣服についてなぜ思い煩うのか。
- 27a アザミがどのように育つかよく観て〔学び〕なさい。
 b 働きもせず、紡ぎもしない。
 c だが、私はあなたがたに言う。
 d 栄華を極めたソロモンでさえ
 e これらの一つほどにも装っていないかった。
- 28a 今日野にあって
 b 明日は炬に投げ入れられる野の草でさえ、
 c 神がこのように着飾って下さるならば、
 d あなたがたを遥かに優って（装って下さる）ではないか、信仰の薄い者たちよ。
- 29b 「私たちは何を食べようか。何を飲もうか。何を装おうか」
 a と言って、思い煩うな。
- 30a これらのすべてのものは異邦人たちが切に求めているからである。
 b あなたがたの父は、あなたがたがこれら〔すべて〕のものを必要としていることをご存知だからである。
- 31a だが、あなたがたは神の国を求めなさい。
 b これら〔すべて〕のものはあなたがたに加えられるであろう。

Q29 天に宝を蓄える譬え (Q12:33-34=マタイ6:20-21)

- 33a むしろ、あなたがたの宝を天に積みなさい。
 b そこは虫も食わずサビもつかないところであり、
 c 盗人たちが壁に穴を掘って盗み出さないところである。
 34a なぜならば、あなたの宝があるところに、
 b あなたの心があるからである。

Q30 家の主人と盗人の譬え (Q12:39-40=マタイ24:43-44)

- 39a だが、あなたがたは次のことを知りなさい。
 b もし家の主人は盗人が何時に来るのかを知っていれば、
 c 彼の家の壁に穴を掘られないであろう。
 40a あなたがたは準備をしておきなさい。
 b 人の子はあなたがたが思いもかけない時に来るからである。

Q31 忠実な僕と不忠実な僕の譬え (Q12:42-46=マタイ24:45-51)

- 42a それでは、忠実で〔また〕賢い僕は誰か。
 b 主人が管理させるために家の者たちの上に立たせて、
 c 時間通りに彼らに食物を与える人は (誰か)。
 43 a このような僕は幸いである。
 b 主人が来た時に、このようにしているのを見られる (僕は)。
 44a 〔まことに〕あなたがたに言う、
 b 彼は自分のすべての財産を彼に委ねるであろう。
 45a しかし、もしその僕が心の中で、
 b 「私の主人は遅れて来る」と言い、
 c 〔彼の仲間の僕たち〕を殴りつけ始めて、
 d 酒飲みたちと飲み食いするならば、
 46ab その僕の主人は予期せぬ日に知らぬ時にやって来て、
 c 彼を厳しく罰し、
 d 不忠実な者たちと共に彼の受ける分を奪い去るであろう。

(9) 地上の国と神の国の譬え

Q32 分裂について (Q12:49, 51, 53=マタイ10:34-35)

- 49a 〔《私は地上に火を投じるために来たのである、
 b 既に火が灯されていたならばとどれほど願うことか。》〕

- 51a あなたがたは私が地上に平和を投じるために来た〔と〕思っている。
 b 平和ではなく戦いを投じるために来たのだ。
 53a なぜならば、私は対立させるために来たからである。息子が父に〔対して〕、
 b 娘が母に〔対して〕、
 c 嫁が姑に〔対して〕。

Q33 時のしるしの譬え (Q12:54-56=マタイ16:2-3)

- 〔54〕a 〔…夕方になって、あなたがたは言う。〕
 b (明日は) 天気が良い、なぜならば空が夕焼けだからである。〕
 〔55〕a (明け方に、あなたがたは言う))
 b 今日天気が悪い、なぜならば空が暗く朝焼けだからである。〕
 56a 〔あなたがたは空模様を見分けることを知っているのに、
 b 時を(見分けることが) できないのか。〕

Q34 和解について (Q12:58-59=マタイ5:25-26)

- 58a …〔まで〕あなたに反対する人と共に行く途上で、
 b 彼と和解することに努めなさい。
 c 〔反対する人が〕あなたを裁判官に、
 d 裁判官が下役に引き渡し、
 e 〔下役があなたを〕獄に投げ込まないためである。
 59a 私はあなたに言う、あなたは決してそこから出られない。
 b 最後の1クアドラントを支払うまでは。

Q35 からし種の譬えとパン種の譬え (Q13:18-21=マタイ13:31-33)

- 18a 神の国は何に似ているか、
 b それをどのように譬えようか。
 19a (それは) からし種に似ている。
 b 人はそれを取り、自分の〔庭〕に蒔く。
 c すると成長して、樹木となり、
 d 空の鳥がその枝に巣をつくる。
 20a 〔そして、再び〕
 b 私は神の国を何に譬えようか。
 21a (それは) イースト菌に似ている。
 b 女がそれを取って、3サトンの小麦粉の中に混ぜる、

c 全体がイースト菌で膨らむまで。

Q36 狭い門から入る譬え (Q13:24, 23, 25-27=マタイ7:13-14, 22-23)

24a あなたがたは狭い門から入りなさい。

b 多くの人々は入ることを求めているからである。

23 だが、[そこを《通って入って来る》人々は] 少ない。

25a [家の主人が立ち上がって]

b 門を閉めると、

c あなたがたは外に立って門を叩き始めて

d 言う、「主よ、開けて下さい。」

e するとあなたがたに答えて言う、「私はあなたがたを知らない。」

26a その時、あなたがたは言い始める。

b 「私たちはあなたの前で飲み食いし、

c あなたは広い通りで私たちを教えました。」

27a すると彼はあなたがたにこう言うであろう。「私はあなたがたを知らない。

b 私から離れなさい、不法を働く者たちよ。」

13:27b : 詩篇6:9 (LXX)

Q37 東から西から来る宴会の譬え (Q13: 29, 28=マタイ8:11-12)

29 [多くの人々が] 東からも西からも来て、

28a アブラハムやイサクやヤコブと共に神の国で食卓につくであろう。

bc だが、[あなたがたは] 外側で [暗闇の中に] 投げ [られるであろう]。

d そこには激しく泣く人と歯がみする人がいるであろう。

Q38 後になる者と先になる者 (Q13:30=マタイ20:16)

30a […最後の人々は最初になり、

b 最初の人々は最後に (なる)。]

Q39 エルサレムに対する嘆き (Q13:34-35=マタイ23:37-39)

34a エルサレムよ、エルサレムよ、預言者たちを殺し、

b そこに派遣された人々を石打刑にした町よ、

de めん鳥がひなを翼の下に集めるように、

c 私は何度もあなたの子らを集めようとしたが、

f あなたがたは (それを) 望まなかった。

35a 見よ、あなたがたの家はあなたがたに見棄てられる。

b 私は…あなたがたに言う、あなたがたは決して私を知らない。

c 「主の御名によって来たるべき方に祝福あれ！」とあなたがたが言う [時が来る] まで。

13:35c : 詩篇117:26LXX (=118:26)

(10) 弟子たること

Q40 低きを高める (Q14:11/18:14b=マタイ23:12)

11a [自分自身を高くする人は低くされ、

b 自分自身を低くする人は高くされるであろう。]

Q41 大宴会の譬え (Q14:16-17, 18?, 21-23=マタイ22:1-4, 7-10)

16 ある人が [大] 宴会を催して、 [多くの人々を招いた。]

17a そして、彼の僕を [宴会の時間に] 派遣して、

b 招かれた人々に言った。

c 来なさい。既に用意ができています。

18 …畑… 19?… 20?…

21a 《そして、僕は、彼の主人にこれらのことを…》

b その時、主人は怒って僕に言った。

c 道に出て行きなさい。

d 招いた人をできるだけ多く見つけて

23c 私の家を満たすためである。

Q42 十字架を負って従うこと (Q14:26-27/17:33=マタイ10:37-39)

26a 父と母を憎まない [人は]

b 私の弟子となることはできない。

c 息子と娘を憎まない [人は]

d 私の弟子となることはできない。

27a …自分の十字架を背負って私に従わない人は、

b 私の弟子となることはできない。

33a 自分の命を見出そうとする人は

b それを失い、

c [私のために] 自分の命を失う人は

d それを見出すであろう。

Q43 塩気のなくなった塩の譬え (Q14:34-35=マタイ5:13)

34a 塩は〔よい〕。

b だがもし塩が塩気をなくしたなら、何によって塩味を取り戻すのであろうか。

35a それは地面にもごみ捨て場にも〔役に立た〕ず、

b (人々は) 外に投げ棄てる。

Q44 失われた羊の譬え (Q15:4-5, 7=マタイ18:12-13)

4a あなたがたの誰かが百匹の羊を飼っていて、

b そのうちの一匹を〔見失うと〕、

c 九十九匹を〔野原に置いて〕、

d 見失ったものを探しに出るのではないだろうか。

5 そしてもしそれを見つけることができると、

7a 私はあなたがたに言う、

bc 彼は迷わなかった九十九匹よりもその一匹について喜ぶ。

(11) 弟子の信仰と生活倫理

Q45 神と富 (Q16:13=マタイ6:24)

13a 誰も二人の主人に仕えることはできない。

b なぜならば、一方を憎み、他方を愛するだろうからである。

c あるいは一方に忠誠を尽くし、他方を軽蔑するだろうからである。

d あなたがたは神とマモンに仕えることはできない。

Q46 神の国 (Q16:16=マタイ11:13, 12)

16a 律法と預言者は、ヨハネ〔まで〕である。

b その時から、神の国に力を尽くして入ろうとし、

c 力を尽くす人々がそれに到達している。

Q47 律法の一画 (Q16:17=マタイ5:18)

17b 〔だが、〕天と地が過ぎ去る方が

c 律法の〔一点〕一画が〔廢れるよりも〕、

a 〔容易である〕。

Q48 離婚の禁止 (Q16:18=マタイ5:32)

18a 自分の妻と離婚して〔他の女と結婚する〕人は全て姦淫をするのであり、

b 離婚された女と結婚する人も姦淫をするのである。

Q49 つまづきについて (Q17:1-2=マタイ18:7, 6)

1a つまづきが来ることは避けられない。

b しかし、それをもたらす人は災いである。

2d これらの小さな者の一人をつまづかすよりは、

b その首の周りに挽き臼を巻きつけられて

ac 湖に投げ込まれてしまう方がましである。

Q50 赦しについて (Q17:3-4=マタイ18:15, 21-22)

3a もしあなたの兄弟が〔あなたに対して〕罪を犯すならば、彼を非難しなさい、

b またもし〔悔い改めたら〕、彼を赦しなさい。

4a またもしあなたに対して一日に七度罪を犯すならば、

b 七度彼を赦しなさい。

Q51 信仰について (Q17:6=マタイ17:20b)

6a あなたがたがからし種ほどの信仰を持っているならば、

bc この桑の木に「根を引き抜いて、湖の中に植われ」と言えば、

d あなたがたに従うであろう。

(12) 終末について

Q52 人の子の到来について (Q17:20-21, 23-24, 37, 26-27, 30, 34-35=マタイ24:26-28, 37-41)

20a 〔《だが、神の国はいつ来るのか、と尋ねられたので、

b 彼(イエス)は彼らに答えて言った。

c 神の国は見える形で来るのではない。》〕

21a 〔…見よ、ここにある、あるいは…

b 《なぜならば、見よ、神の国はあなたがたの中にあるからである。》〕

23a もし彼らが「見よ、彼は荒野にいる」とあなたがたに言うならば、「出ていくな」。

b 「見よ、彼は屋内にいる」と言うならば、「後を追うな」。

- 24a なぜならば、稲妻が東（の空）から来て、
 b 西（の空）まできらめくように、
 c [その日には] 人の子も同じようになるであろう。
 37 死体がある所に、はげ鷹が集まってくるであろう。
 26a ノアの時代に [起こったように]、
 b 人の子 [の日に] も同じようになるであろう。
 27a [なぜならば、かの時代には]
 c ノアが箱舟に入る日まで、
 b 食べたり飲んだりし、娶ったり娶られた [りして]、
 d 洪水が来て、全てが流されたのである。
 30 人の子が現れる日には [同じように] なるであろう。
 34a 私はあなたがたに言う、
 b [畑に] 二人の男がいて、
 c 一人の男は取り上げられ、一人の男は残される。
 35a 粉を挽くために小屋に二人の女がいて、
 b 一人の女は取り上げられ、一人の女は残される。
- Q53 ムナ（タラントン）の譬え話（Q19:12-13, 15-26＝マタイ25:14-15, 19-29）
 12 ある人が旅に出ようとしていた。
 13a 自分の10人の僕を呼んで、彼らに10ムナを与えて、
 b [彼らに「私が出掛けている時に、あなたがたは商売しなさい」言った]。
 15a [多くの時間を経て] 主人がかの僕たちのところに来て、
 b 彼らと清算をした。
 16a 最初の人 [来て] 言った。
 b 主よ、あなたの1ムナを10ムナに増やしました。
 17a すると彼に言った。
 b よくやった、良い僕よ、僅かのもに忠実であったので、多くのものを任せよう。
 18a [二番目の] 人が来て言った。
 b 主よ、あなたの1ムナを5ムナにしました。
 19a 彼に言った。
 b よくやった、良い僕よ、僅かのもに忠実であったので、多くのものを任せよう。

- 20a もう一人の僕が来て言った。
 c 主よ、あなたは蒔かない所から刈り取り、
 d 散らさない所から集める
 b 厳しい人であるのを [知って]、
 21a 恐ろしく [なって退いて]、[あなたのムナを地面の] 中に隠しました。
 b ご覧下さい、あなたのものを持っています。
 22a 彼に言った。
 b 悪い僕よ、
 c 私が蒔かない所から刈り取り、
 d 散らさない所から集めることを知っていたのか。
 23a それでは、あなたは私のお金を
 b 銀行に預けておくべきであった。
 c そうすれば、私が行って利子と共に私のものを払い戻すことができたのに。
 24a あなたがたは彼からその1ムナを取り上げて、
 b 10ムナ持っている人に与えなさい。
 26a [なぜならば、] 全て持っている人に与えられるであろう。
 b だが、持っていない人は、彼が持っているものさえも取り上げられるであろう。
- Q54 イスラエルに対する裁き（Q22:28, 30＝マタイ19:28b）
 28 あなたがた…私に従う人々は、
 30a …王座に座り、
 b イスラエルの12部族を裁くであろう。

(1) 本稿は「Q文書（ギリシア語テキスト決定版）の日本語訳（1）」『敬和学園大学研究紀要』第21号（2012年、241-252頁）の続きである。（ ）内は訳者が補った言葉、〔 〕内はオリジナルのテキストがやや不確定な言葉、《 》内はオリジナルのテキストがかなり不確定な言葉、ゴチック体は旧約聖書の引用文、その直後に引用箇所が示されている。ゴチック体のブロック分けとその見出し、Q文書の番号ならびに中段落・小段落分けとゴチック体の見出し・聖書箇所は、訳者が内容を明示するために付けたものである。